

Multiple Vertical Panning を用いた 立体音響システムにおける 奥行き表現の比較検討

Comparative study of the depth expression
in 3D audio system using multiple vertical panning

○木村敏幸(東北学院大)

- ◆我々はこれまでに大画面ディスプレイに適合した立体音響システム (Multiple Vertical Panning, 以降「MVP 方式」と呼ぶ) を提案し, 実用化の可能性も示してきた. さらに, MVP 方式による音の奥行き表現も検討してきたが, 奥行き表現に関するこれまでの研究ではステレオホニックのような従来方式とは比較してこなかった.
- ◆本報告では, MVP 方式による奥行き表現の可能性を検討するために, ステレオホニックの音も再生できる視聴覚提示システムを制作し, 臨場感を評価した. その結果, Fig. 1 に示すように, 映像が中心にあり視聴位置が中心位置以外の場合, MVP 方式はステレオホニックよりも臨場感が向上することが分かった. また, 点音源の物理的な音量変化を模擬すればさらに臨場感が向上するということも分かった.

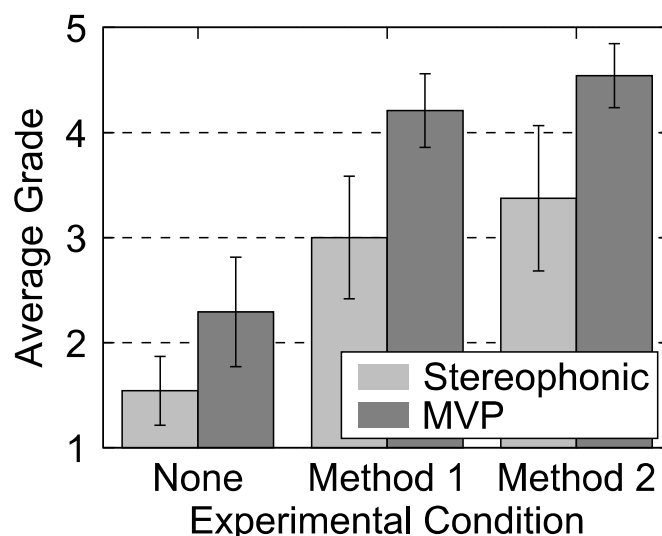


Fig.1: Results of the evaluation experiment.

(Error bar: 95% confidential interval)